

JICA プロジェクト研修生受け入れ報告

日 時：2023年 6 月 26 日 (月) 13:00～14:30

研修生：インドネシア保健省 (10 名)

同行者：国立感染症研究所実地疫学研究センター センター長 砂川 富正 先生

広島県感染症・疾病管理センター (CDC) センター長 桑原 正雄 先生 (他 4 名)

インドネシア国内では、現在、広島県 CDC のような感染症管理・対策グループ構想が検討されています。このたび、JICA プロジェクトの一環である「インドネシア感染症サーベイランス能力強化トレーニング」として、インドネシア国内で保健行政に携わる 10 名が日本国内の研修に招待され、6 月 13 日より各地で研修を受けた後、6 月 26 日に当検査センターに来所されました。



当検査センターでの研修は、前半はスライドを用いて検査センターの概要と感染症検査の説明を行いました。特に新型コロナ PCR 検査の当日検査体制や、広島県事業 (無症状者) でのプール PCR 検査に関心を持たれ、終了後の質疑応答では活発な意見交換が行われました。

研修後半は検査室の見学を行い、オートメーション化された機器や細菌検査の同定で使用している質量分析器のデモンストレーションを行い、非常に関心を示されていました。

<研修生の感想(研修を終えて)>

このたびは研修にお招き頂き、ありがとうございました。保健省の職員として臨床検査を利用している立場から、検査の説明には非常に感銘を受けました。見学では最先端の機器を見せてもらい、短時間で精度の良い検査ができることに驚き、感心しました。



貴重な時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました。

<広報委員> 石田 啓 / 石田 有里 / 新見 唯可 / 梶村 葉月 / 川畑 未宇

*ウェブサイトでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>